

<討議内容>

日 時:令和7年11月4日(火)

場 所:ミライフルキッズデイサービス八戸中居林

出席者:放課後等デイサービス 全スタッフ

内 容

職員による評価	令和7年9月18日～令和7年10月1日
保護者による評価	令和7年9月20日～令和7年10月20日
事業所全体による評価	令和7年 10月22日～令和7年 10月27日

評価期間を設け、ミライフルキッズスタッフで討議を行う。

●昨年度の目標(改善点)から今年度の達成度、進捗状況について

・安全計画・BCP を活用しながら、常に防災意識を持ちながら子ども達の安全安心に繋げていく。

⇒安全計画・BCP 研修及び訓練が義務化されたことに伴い、法人全体で検討し月ごとに委員会、研修、訓練を実施することとなる。詳細内容については別紙参照とする。

・引き続き保護者会、保護者参観が出来ればと考えている。あらかじめ設定せず、イレギュラーで来所頂いても、自信を持って支援できるようにする。

⇒今年度は、保護者、兄弟を含めた行事、救急救命講習が出来たことが良かったように思う。子ども達からの意見、そしてご家族様からの意見を吸い上げて、活動に少しは反映出来たように思う。(例:ボウリング大会など)

ただし今年は、保護者参観が上手く進められなかった。お仕事の都合もあり、参観となると学校での参観もあることから、負担になってしまう懸念もある。

・今後の課題は、ガイドラインでも謳われている「インクルージョン」。この部分がなかなか出来ずにいることが弱みである。全スタッフで、意識していく必要がある。地域の中で快適に安心して生活できることを見据えた取り組みが出来ればと思う。

⇒やはりインクルージョンの観点からの支援が上手く出来なかった。他学校の生徒さんによるボランティア活動(読み聞かせ、リサイクル活動の一貫としてペットボトルキャップを活用した製作活動)を受け入れることが出来た。また夏休みの長期休みには、大学生の方のボランティアを受け入れて活動することが出来た。

・公共交通機関を利用しながら、社会で生きていくスキルを習得できるように支援をする。

⇒事業所内で、時刻表の見方、時計の学習、バスに状況する時のルールやマナーについて学習するだけに留まった。

・地域の催しものに参加できるようにする。

⇒三社大祭の見学、山車づくりの参加、近隣の学校の文化祭見学に出掛けることが出来た。

・健常の子ども達と、スポーツ交流が出来ればと考えている。

⇒これに関しては活動する時間に違いがあること。保護者、学校に承諾を得てからでなくては難しい。

・将来を見据え、体験をすることで、仕事へ繋がるプログラムを考えていきたい。

特性、適性を見ながら①履歴書の書き方練習②挨拶返事の徹底③人との関わり方(距離感など)特に異性との関わり方についてといった社会上でルールやマナーについての学習。そして作業課題としては缶つぶし、プラグの組立解体、封筒へのラベル貼り、穴あけパンチ、シュレッターなど。生活面では、食器洗い、トイレ掃除、食器用洗剤やハンドソープの詰め替え等を行っている。

●令和7年度 事業所における自己評価結果
「はい」より「いいえ」の数が多い項目をピックアップ

	チェック項目	はい	いいえ	改善点
環境 体制整備	4:生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合せた空間となっているか。	2	4	工夫している点は、別紙参照と通りである。ハード面での解決が必要とされるが、現状厳しいため何とか創意工夫でやっていくしかない。
業務改善	9:第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	今後、外部評価というよりは、外部の目を入れて客観的な視点が必要だと思う。
関係機関や保護者との連携	29:就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	利用が決まった際には、一度見学をさせて頂いているが、その時だけに留まっている。今後もっと連携が必要と思われるが、実際どこまでやると良いのかわからない部分もある。
	31:地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6	なかなか設けられていないのが現状。
	32:放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	時間的に難しい。また、児童クラブさんなどは、少ないスタッフで多数の児童生徒を掌握していることもあり、なかなか交流することは難しさがある様子。断られるケースが多い。
	33:(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6	参加出来ていない。
	35:家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	ペアレントトレーニングに関わらず、研修の機会がある時には情報提供している。我々職員が、質の向上のためにも改めて支援の工夫や、新たな取り組み、さらには自分自身を振り返る機会を設ける必要を感じている。
非常時等の 対応	49:食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	3	3	対象児童がいないため、出来ていないが食物アレルギーのアンケートは実施している。

※上記からもわかるように、必然と弊所の弱みは「関係機関や保護者との連携」として結果が出ている。今後、どのように対応し改善に向けていくかを検討していく。

●令和 7 年度 保護者等からの事業所評価の結果
「いいえ」の意見がある項目をピックアップ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善点
環境 体制整備	1:子どもの活動スペースが十分に確保されていると思いますか。	5	6	3	狭さはある、ご不便をかけている部分もあると思います。今後、さらに工夫をしながら対応をしていきたいと考えています。
	3:生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また事業所の設備等は、障がい特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	3	0	設備に関しては、子どもの特性に合わせて視覚提示等を行っているつもりですが、ご指摘の通り、十分ではないと思います。今後、一人ひとりの子ども達の意見に耳を傾け、どうするとわかりやすいのか、不安を感じないのかを聞き取りながら対応をしていきたいと思っています。
適切な支援 の提供	11:放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	4	3	時間の確保の難しさがあります。放課後児童クラブや児童館様の現状も理解できますし、今後別の形での交流会を検討しインクルージョンに向けた取り組みが出来ればと考えております。
保護者への 説明等	18:父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	2	0	研修会、ご兄弟も含めたボウリング大会が開催出来たことが良かったと思います。大好評だったこともあり、また企画をしたいと思っています。 一方で、研修会や行事等は出来たものの、普段の不安や不満を言える場の提供がなかったかなと思います。今後こうした機会を設けていければと思います。

※環境体制整備に関しては、工夫しながら対応していきたいと考えています。後は、適切な支援の提供として、インクルージョンの視点から他の子どもとの交流、子どもに限らず第三者の目を入れることが重要となってきます。ボランティアの受け入れ、随時参観の受け入れ等を改めて通知していきたいと思っています。また保護者会、茶話会と堅苦しい場ではなく、ざっくばらんに話をする場所の提供が出来ればと思います。